

あおもり市議会だより

ぎかいの森

平成30年第1回定例会の内容を
よりわかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. 5

平成30年5月

特

集

ねぶた師

in あおもり

目次

特集	P 2
可決された主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 5
トピックス	P 16

写真：取材先である竹浪比呂央ねぶた研究所内にて
ねぶた師の竹浪比呂央さん（写真左）と手塚茂樹さん（写真右）

特

集

ねぶた師

in あ お も り

今回の特集はねぶた師がテーマ。国の重要無形民俗文化財でもある青森ねぶた祭は、国内だけでなく海外からも多くの観光客が訪れ、本市の短い夏の夜を熱気に包み込む、日本を代表する勇壮な火祭りです。その祭りを支える方々の中でも、主役となる大型ねぶたに命を吹き込むねぶた師の皆さんは、非常に重要な役割を果たしています。今回は、これまで数々の賞を受賞し、市内において「ねぶた研究所」を主宰、ねぶた制作以外にも日々精力的な活動を行っている竹浪比呂央さんを取材し、お話を伺ってきました。

〈ねぶた師になろうとしたきっかけは？〉

私は木造町の生まれですが、母の親戚が青森市にいたので、小さいころから青森ねぶたを見ており、子どもながらにその大きさと華やかさ、人の数に圧倒されたのを覚えています。特にねぶたの武者人形が大好きになり、ねぶた絵を描いたり、工作で小さなねぶたをつくったりしましたが、そのときから大人になったらねぶたづくりを

手伝えたい、作品を発表したいと思ひ、今に至ります。

〈現在の活動内容をお聞かせください〉

もちろんメインはねぶたづくりですが、この祭り自体をなくしたくないという強い思いがありますので、若い人を育てる活動もしています。この研究所をつくったのも、今はねぶたをつくる場所もなかなかなく、若い人がねぶたをつくれる場所を確保したいという思いがありました。

研究所では、若い人たちのねぶたの共同制作を通じた技術的な指導や、ねぶたの素材を使った新たな作品の制作等を行っており、これらの活動を通して、ねぶたづくりが年間を通じた創作活動であることを市民に理解していただくとともに、ねぶたという文化を世界に発信できればと考えています。

今後も、皆さんの記憶にずっと残るようなねぶたをつくるのが目標ですね。



今回、快く取材を引き受けていただいたねぶた師の竹浪比呂央さん



解体したねぶたから切り取った和紙を使用した灯籠

〈世界に発信とありましたが、具体的には？〉

例えばこの灯籠（右写真）は、ねぶたを解体した紙を集めてつくっているのですが、ドイツの展示会に持っていた際には、この柔らかい紙の明かりが非常に喜ばれました。また、針金を使ったワイヤーアートというジャンルで、ねぶたとは全く別の新しい造形として発信するの面白いですね。

ねぶた祭は青森市の宝として守るべきであり、変えてはならないものですが、紙の彫刻とか、明かりの造形といった青森オリジナルの作品として発信していければと

考えています。

〈ねぶた師としての悩みや、行政に対して言いたいことは？〉

やはり、ねぶた師を目指す人たちの経済的な環境がまだ整っていないと思います。例えば、祭り期間以外にも、公立大学等で青森ねぶたの授業を取り入れ我々ねぶた師が講師を務めたり、国際芸術センター青森で公開制作をするとか、大型ねぶたの制作以外の経済的な環境が整えば、やる気のある若い人がもっと出てくると思います。

〈今後の展望や夢をお聞かせください〉

とにかくねぶた祭を充実させるため、一つでもよいねぶたをつくると同時に、その発表の舞台である祭りをなくさぬよう、先ほどのアート造形といった、ねぶたに

とってプラスとなるような環境をつくっていければと思います。

〈若手ねぶた師へ一言！〉

私自身、若い人たちの作品にかなり刺激を受けています。さらに上を目指していけるよう、ねぶた以外の分野にも視野を広げ、感性を豊かにしてほしいと思います。



竹浪比呂央さんと取材を担当した議会広報広聴特別委員会委員。
左から、舘山委員、竹浪さん、中村委員、山本委員。
（取材日：平成30年2月15日。真冬でもねぶた師さんは活動しています）

青森市議会

可決された主な議案です。

●平成30年第1回定例会

会期31日間 2月21日～3月23日

●第1回定例会で可決等された議案等

市長提出議案97件中……………97件

(可決92件、同意5件)

議員提出議案10件中……………5件

(可決)

諮問2件中……………2件

(棄却すべきと答申)

■以上の中から主なものをお知らせいたします。なお、全ての議案名と結果は、市議会ホームページでごらんいただくか、議会事務局へお問い合わせください。

その1

平成30年度当初予算を

可決しました

今期定例会で提出された平成30年度当初予算案は、真の緊急課題である人口減少社会に立ち向かい、青森市の「新たなまち創り」の海図を描く予算として市長から提案理由の説明がなされ、「しごと創り」、「ひと創り」など6つの政策について、その実現に向けた施策が盛り込まれたものとなっています。

市議会では、提案された予算案については、本会議での一般質問、予算特別委員会での質疑・採決を経て、最終的に本会議で議決することとなりますが、一般会計、財産区を除く特別会計及び企業会計合わせて総額2千416億2千699万7千円に上る平成30年度当初予算案については、一部で起立採決を行った結果、原案のとおり全て可決しましたが、その内容については以下のとおりです。

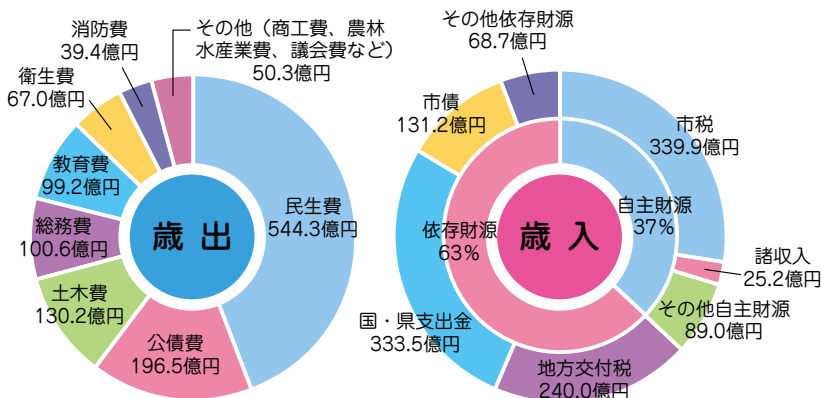
平成30年度特別会計・企業会計予算額

会 計 名	予算額	対前年度増減
競 輪	174.9億円	35.5億円
国民健康保険	282.3億円	△81.3億円
宅 地 造 成	12.7億円	6.1億円
下 水 道	117.0億円	8.5億円
卸 売 市 場	8.1億円	△0.0億円
農 業 集 落 排 水	3.8億円	△0.1億円
介 護 保 険	282.5億円	△7.3億円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.3億円	△1.6億円
後期高齢者医療	31.3億円	1.4億円
駐 車 場	3.4億円	△0.2億円
合 計	917.3億円	△39.0億円
病 院	146.1億円	6.4億円
水 道	94.4億円	△1.4億円
自 動 車 運 送	31.0億円	△0.4億円
合 計	271.5億円	4.6億円

平成30年度青森市一般会計予算額

1227億4600万円

(対前年度：+約29億9500万円)



その2

青森市次世代健康・スポーツ振興基金を設置します

●青森市次世代健康・スポーツ振興基金条例の制定について

今期定例会では、短命市返上のためとして市民から寄附のあった20億円について、その使途の明確化等のための条例案が提出されました。市がこの寄附金により取り組むとした青森操車場跡地へのアリーナ建設については、多くの議員が本会議で取り上げるなど、さまざまな議論が交わされ、同条例案については、起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

また、この寄附金の積み立て等の内容を含んだ平成29年度一般会計補正予算案については、全会一致で可決しました。

●平成29年度青森市一般会計

補正予算額 28億4千60万5千円
補正後の予算額

1千240億6千720万円

その3

男女共同参画社会の実現を図ります

●青森市男女共同参画推進条例の制定について

今期定例会では、男女共同参画の推進等を図るための同条例案を全会一致で可決しました。同条例の制定により、本市の男女共同参画社会の実現に向け、総合的かつ計画的な取り組みが期待されます。

質問・質疑

こんなことを聞きました。

第1回定例会において行われた、一般質問、予算特別委員会の質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

●質問・質疑を行った議員・委員数

●第1回定例会

一般質問	25名
予算特別委員会	20名

人口減少対策



首都圏への移住相談窓口の設置について

自由民主党 中田 靖人
なかつ やすひと

Q 本市への移住対策のためには、首都圏に住んでいて本市に移住してみたいという方が相談できる相談窓口を、市内ではなく首都圏に設置すべきと考えますが、市の考えをお示しください。

A 市でも、移住対策のための窓口が首都圏にもあればより効果的とは考えており、首都圏にはアンテナショップである「AOMOLink（赤坂）」もありますが、相談窓口の設置には予算面、人事面等の調整も必要となることから、検討には時間をいただく必要があるものと考えています。

青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

人口減少対策



人口減少対策について

公明党 渡部 伸広
わたなべ のぶひろ

Q 人口減少対策にはさまざまな対策があり、その中でも焦点を絞った対策が必要と考えますが、市の考えをお示しください。

A 市では、本市の人口減少の要因の一つである進学や就職などによる若年層の流出を阻止するには、地域経済の活性化を図ることが重要であるとの認識のもと、多くの市民がこのまちで暮らしていける環境を創造するため、地域ベンチャー支援や青年就農者の取り組み支援、観光地への誘客の促進等、「しごと創り」につながるように取り組みを行うこととしています。

平和行政



ヒバクシャ国際署名について

日本共産党 村川 みどり
むらかわ みどり

Q 2016年4月、ヒロシマ・ナガサキの被爆者が「核兵器のない世界を」と願いヒバクシャ国際署名を提起しましたが、この被爆者の訴えに、多くの自治体の首長たちも賛同しています。平和首長会議に再加盟した青森市の市長として、ヒバクシャ国際署名に署名する考えはないかお示しください。

A ヒバクシャ国際署名については承知していますが、日本政府として国連で採択された核兵器禁止条約への批准も行っていないところであり、市としてはその推移を見守っていきたいと考えています。

空き家対策



冬期間の空き家の管理について

日本共産党 葛西 育弘
かさい いくひろ

Q 隣家への雪に関するトラブル防止のため、市ホームページや「広報あおもり」等さまざまな媒体を通じて、冬期間の空き家の適正管理を呼びかけてはどうか考えますが、市の考えをお示しください。

A 市では、今年度から過去に市民等から情報提供のあった空き家の降雪期前のパトロールを実施し、状態が悪化している場合には、所有者等に助言や指導を行っているところです。広報媒体を活用した空き家の適切な管理の周知については、今後、他都市の実施状況や効果等を参考としてまいります。

庁 舎

A 柳川庁舎については、現在も設置している弘前大学食料科学研究所を初めとした弘前大学青森キャンパスとしての活用、行政文書の保管庫としての経過的な活用を検討しているほか、柳川情報コーナを引き続き設置することとしています。これらを踏まえ、今後効果的な柳川庁舎の活用方法について、検討を進めてまいります。



柳川庁舎の 活用について

新政無所属の会
奥谷 進おくや すずむ

Q 駅前庁舎の供用開始後も、柳川庁舎では一部の部局が引き続き執務していますが、今後、市では柳川庁舎をどのように活用していくのか、考えを示してください。

庁 舎

A 市では、駅前庁舎に来庁される市民の皆様をわかりやすく案内できるように、各フロアの入り口部分への全館案内板の設置、絵文字を使い窓口ごとに色分けした誘導表示を行っているですが、今後においても必要に応じ改善するとともに、行き先をお探しの方への積極的な声かけを行うなど、接遇の向上にも努めていきたいと考えています。



駅前庁舎の 案内表示について

社民党
藤田 誠ふじた まこと

Q 駅前庁舎について、初めて行った方からは迷うとの声も聞いていますが、駅前庁舎の案内表示設置についての市の基本的な考え方を示してください。

市民生活

A 平成29年度に合葬墓整備事業費の縮減を検討した結果、建築物のデザインを円形から立方体に、地下納骨室の形状を八角形から四角形にするなどの変更や、整備面積の縮小等により、骨箱で2000体分を保管できる機能を維持しつつ、整備費の縮減を図ることとしたものです。



合葬墓整備計画事業費の 圧縮について

市民クラブ
木下 靖きのした やすし

Q 多額の経費を要するとして見直しを図っていた月見野霊園内合葬墓について、このたび新たに示された整備計画では事業費が前計画の約3分の1に圧縮されていますが、その要因をお示してください。

市民生活



新市庁舎に配置予定の 情報コーナーについて

無所属 橋本 尚美
はしもと なおみ

Q 新たに建設される市庁舎には、支所機能を持った情報コーナーが配置される計画となっています。これは市民からの要望も多く、ぜひ進めていただきたいと考えますが、市の見解をお示しく下さい。

A 市では現在、市内の各支所や情報コーナーにおいて、戸籍の謄抄本等や住民票の写しの交付、印鑑証明・税の証明書等の交付、市税等の収納、出生・死亡や転入・転出等の届け出等の受け付けなど31の業務を行っており、新市庁舎の情報コーナーにおいても、同様の窓口業務の実施を考えています。

農林水産



TPP11*等の発効に伴う 生産影響額について

日本共産党 館田 瑠美子
たかだ るみこ

Q 県は、TPP11及び日欧EPAの発効に伴う県内農林水産物の生産減少額が、TPP11では最大49億円、日欧EPAでは最大33億円との試算を発表しました。多くの農家が不安を抱いています。市の基幹作物である米、リンゴへの影響試算額を示してください。

A 米については国・県の試算と同様、影響はないと考えています。リンゴについては市独自の試算となりますが、TPP11では約2千800万円から約5千500万円、日欧EPAでは約2千万円から約3千800万円の生産減少と見込んでいます。

*TPP11：TPP（環太平洋パートナーシップ協定）から離脱宣言をした米国を除いた11カ国により、2018年3月に合意・署名を行ったものです。

農林水産



新規就農者の確保と 課題について

自由民主党 長谷川 章悦
はせがわ しょうえつ

Q 平成29年度に本市において、国の農業次世代人材投資資金（経営開始型）の交付を受けている新規就農者数と、事業を進める上での課題についてお知らせください。

A 本市での平成29年度の当該資金の交付見込み数は、市全体で、水稲が2件で2名、果樹が11件で13名、野菜が10件で12名、複合経営が10件で11名の計33件38名であり、新規就農者の確保に一定の成果を上げていると考えていますが、一方で交付要件が厳しいとの声もあるため、要件の緩和について国に要望したところです。

農林水産



リンゴ生産者とのタウンミーティングについて
新政無所属の会 小倉 尚裕
おぐら たかしひろ

Q 農林水産業に関して、最も大切な産地の育成のためには生産者の声を聞くことが第一歩だと思いますが、リンゴ生産者とのタウンミーティングの実施について、市の考えをお示しください。

A 市では、町会等を対象に地域の声を聞くあおりタウンミーティングを平成29年度から実施していますが、農林水産業の振興を着実に進めるには、生産者の皆様の実情や課題を施策に反映させていくことが不可欠であるため、リンゴ生産者のみならず農漁業者を対象として実施したいと考えています。



20億円の寄附とアリーナ建設について
日本共産党 藤原 浩平
ふじわら こうへい

Q 市民から寄附のあった20億円の使い方については、やはり市民との意見交換・合意形成の上でどういう事業を進めるかを考えるべきであり、アリーナを整備すると先行して決めるのではなく、慎重に時間をかけて議論すべきだと思いますが、市の見解を示してください。

A 青森操車場跡地の活用は、具体的な用途が固まらずにここまで来たのが現状と認識しています。そうした経緯を踏まえ、地域要望等を聞きながら進めてよいかお諮りしていますので、議論の上、議会としての判断を賜りたいと考えます。



青森操車場跡地へのアリーナ建設について
日本共産党 山脇 智
やまのき さとし

Q 市が20億円の寄附でアリーナ建設を行うことについて、寄附金の使い方は寄附金申込書に記載された目的の範囲内で考えるべきであり、寄附者との協議により決定することとは行政として公平性に欠けると思えます。アリーナ建設事業を急ぐ理由があればお示しください。

A 市では、アリーナ建設は市民体育館の建てかえであり、建てかえに当たっては国体に間に合わせたいと考えていますが、今後市民の皆さんに議論いただく時間には十分にあり、特段急いでいるという認識ではありません。



アリーナプロジェクト

アリーナプロジェクト

教 育



教職員の多忙化解消

について

社民党 中谷 良子
なかや りょうこ

Q 教職員の多忙化解消のため市教育委員会が開催している多忙化解消検討委員会について、その取り組み内容を毎年検証し改善を図っていくには、同委員会の恒常的な設置が必要と考えますが、市教育委員会の考えをお示しください。

A 同委員会では、これまで校務文書の改善や部活動のあり方等、教職員の多忙化解消に向けた具体的な取り組みについて幅広く協議してきており、市教育委員会としては今後も同委員会を継続して開催し、さまざまな検証作業等を行ってまいりたいと考えています。

教 育



統合型校務支援システムの導入について

公明党 山本 武朝
やまもと たけとも

Q 平成30年度当初予算に統合型校務支援システムの導入の予算が計上されていますが、これにより教員の多忙化解消にどのように取り組んでいくのか、市教育委員会の考えをお示しください。

A 同システムは、児童・生徒の情報を一括管理することで効率的な校務処理を行えるもので、市教育委員会では、同システムを小・中学校へ一斉導入することで、学校事務の効率化・平準化を図るとともに、教員が児童・生徒に向き合う時間を確保し、教育活動に専念できる環境づくりに努めていきます。



教 育



新たな小・中学校副読本について

市民クラブ 工藤 健
くどう けん

Q 小・中学校副読本支給事業として平成30年度に新たに制作する社会科副読本についてお示しください。

A 平成29年度第1回市民意識調査において、本市に住み続けたいと回答した年齢層の割合が最も低かったのが16歳から19歳であったことを踏まえ、市教育委員会では、本市を理解し暮らし続けたいと思えるような、小学校6学年・中学校用の副読本を制作することとしました。これにより、子どもたちの郷土に対する誇りや愛情の醸成と、地域社会へ参画する資質、能力の育成に努めたいと考えています。

教 育



英語の教科化に向けた 専科教員の活用について

新政無所属の会
ならおか
奈良岡 隆

Q 2020年から始まる小学校での英語の教科化に当たり、英語を専門に教える専科教員が重要な役割を果たすものと考えますが、市教育委員会の考えをお示しくください。

A 市教育委員会では、小学校高学年の英語の授業については、専科教員の活用が教員の効率的な活用にもつながるものと考えており、例えば、現在三内中学校区で行われているような、中学校の教員が小学校に行って指導する形や、県教育委員会との教員配置の協議により、専科教員の確保に努めたいと考えています。

都市整備



浅虫温泉駅の バリアフリー化について

新政無所属の会
なかむら
中村 節雄

Q 浅虫温泉駅は、以前より高齢者にとって利用しにくい駅であるとの声が地域住民からありましたが、平成30年度に実施する浅虫温泉駅バリアフリー設備設置可能性調査事業の概要をお示しくください。

A 同駅のバリアフリー化は、地域からの要望等を受け、重点事業説明会で直接市長から知事に対し強く要望した結果、平成30年度、県とともに同事業を実施することとなりました。同事業では、跨線橋へのエレベーターの設置や跨線橋のかけかえなども含め、施工の際の課題の有無等の調査を行います。



浅虫温泉駅の跨線橋

都市整備



浅虫ダム線道路整備事業 について

自由民主党
おおや
大矢 保

Q 浅虫ダム線道路整備事業について、草刈り作業を初めとした道路の維持管理はどのようになっているのかお示しくください。

A 市が管理している市道については、日常のパトロール等により、路面の補修や清掃、構造物の修繕、草刈りなどの維持管理を行っており、市道浅虫ダム線の草刈り作業については、年1回、業者委託により実施しています。道路の維持管理については、今後とも日常のパトロールや市民からの情報提供等をもとに、現場の状況に応じ、適切に実施してまいります。

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

都市整備

晴雄橋、うとう
橋のほか、八ッ
役牛館橋、福田
橋、桜川橋、下
筒井橋です。



平成29年度に補修を行った八甲橋

A

市では、長期的に橋梁を管理し、維持管理コストの最小化・平準化を図るため、平成25年度に策定した青森市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋梁の補修を行っているところです。これにより平成30年度に補修を予定している橋は、石森橋、

Q

平成30年度当初予算案で示されている橋梁長寿命化修繕事業について、対象工事が石森橋、晴雄橋、うとう橋ほか4橋とありますが、ほか4橋はどこかお示しください。



橋梁長寿命化修繕事業について

市民クラブ 竹山 美虎
たけやま よしとら

都市整備

A 篠田地区における流・融雪溝の整備に当たっては、当該地区に隣接する沖館川から取水できると考えており、その具体については平成30年度に調査・検討を進めることとしています。今後のスケジュールについては、この調査業務とその後測量設計業務の結果に基づき計画を策定するため、現時点ではお示しできる状況にありません。

Q

流・融雪溝整備事業の対象となっている篠田地区について、平成30年度の事業内容と、今後のスケジュールをお示しください。



篠田地区の流・融雪溝の整備について

市民クラブ 秋村 光男
あきむら みつお

除排雪



A

歩道除雪については、歩道パトロール班が積雪状況を確認し、歩行に支障がある場合に委託業者に指示を出し、作業を行っています。歩道が狭い場合等は人力等の作業も行っています。市では今後も迅速な情報収集により、歩行者空間の確保に努めてまいります。

Q

古川地区、長島地区の一方通行の幹線道路において、今冬は歩道除雪が行われ、利用する市民、運転するドライバーからも大変好評でしたが、市の歩道除雪の実施に係る指示系統はどのようになっているのかお示しください。



歩道除雪について

自民清風会 館山 善也
たけやま よしや

除排雪



今冬の雪に関する市民 相談と除排雪について

新政無所属の会
丸野 達夫
まるの たつお

Q 今冬における雪に関する市民相談窓口に寄せられた件数と、除排雪の特徴をお示しく下さい。

A 雪に関する市民相談の件数は、今冬と近い降雪状況であった平成24年度と比べて約5千件少ない約7千件であり、これは国、県、事業者、地域住民との連携が深化した結果と考えています。また、除排雪の特徴としては、除雪完了路線のウェブサイト上での一般公開や青森港本港地区緑地雪処理施設の供用開始による排雪時の混雑解消が挙げられ、効率的な除排雪作業が行われたものと考えています。

福祉



コミュニケーションボード の設置について

公明党
軽米 智雅子
かろみい ちかこ

Q 障がいのある人の意思疎通を支援するため、コミュニケーションボードを取り入れている自治体がふえてきています。駅前庁舎の窓口にもコミュニケーションボードを設置すべきと思いますが、市の考えをお示しく下さい。

A 市では、コミュニケーションボードを必要に応じて設置し、適宜活用していますが、現在、適切な対応をするための職員対応要領を作成しており、この要領の職員への配付にあわせ、駅前庁舎の窓口等にコミュニケーションボードを設置したいと考えています。



福祉



放課後児童会の開設時間 等の見直しについて

自民清風会
小豆畑 緑
あずはな りつ

Q 放課後児童会の開設時間延長については、子育て世帯の仕事と家庭の両立の観点からこれまでも私は議会で要望してきましたが、平成30年度に予定している放課後児童会の見直し内容をお示しく下さい。

A 市では、保護者等から延長の声があった放課後児童会の終了時間については、午後6時から30分延長し午後6時30分に、負担金については総合的に見直し、1人当たり月3千円から3千200円に引き上げることとしました。なお、これらはいずれも平成30年9月1日からの実施を予定しています。

福祉



終活支援への

取り組みについて

市民クラブ 奈良 祥孝

Q 横須賀市のエンディングプラン・

サポート事業を初め、終活支援に
取り組む自治体が増えてきていま
すが、終活支援に係る今後の市の
取り組みをお示しください。

A 市では、終活についてはそれぞれ

の状況によりさまざまな考え方は
あるものの、その人らしく生きる
ために大切なことと認識しており、
お墓の管理や相続、遺言等の相談
への対応を初め、終活の勉強会等
の情報を紹介していますが、今後
も先進都市の取り組み等を参考に、
終活支援のあり方について検討し
てまいります。

福祉



地域包括支援センターの
強化について

社民党 斎藤 憲雄

Q 地域包括ケア強化法が施行となり

ますが、本市の地域包括ケアス
テムの中心を担う地域包括支援セ
ンターの担当圏域は広く、人的に
も無理が来ています。同センター
の数か人員をふやすべきと考えま
すが、市の考えをお示しください。

A 各センターが担当する圏域や人員

は、市高齢者福祉・介護保険事業
計画の第7期計画の策定に当たり
検討を行いました。その結果、
圏域はこれまでと同様の11圏域と
しました。人員は、今後圏域ごと
の運営状況等を考慮し、検討する
こととしたものです。

保健医療



市急病センターの移転に
伴う改修内容について

公明党 赤木 長義

Q 市庁舎の建てかえと合わせて移転

を予定している市急病センターに
ついて、どのような改修内容とな
るのかお示しください。

A 市急病センターは、耐震診断によ

り建てかえが必要と判断されたた
め、平成32年1月の第3庁舎1階
への移転・供用開始を目指してい
ますが、移転に当たっては、待合
室面積の拡大、診療室やトイレの
増室、授乳室・感染症患者専用待
合室・救急車等搬入口等の新設な
ど、これまでの設備・機能面での
多くの課題について、改善が図ら
れる改修を考えています。

保健医療

A 市では、骨髄移植ドナーへの支援について、まずは広く市民の皆様を知っていただくことが重要と考えており、市ホームページや「広報あおもり」等、また県骨髄バンク登録協力会との連携によりドナー登録を積極的に呼びかけていますが、今後も国、県、関係団体と協力し、善意に基づくドナー登録の輪を広げたいと考えています。



骨髄移植ドナーへの
支援について
新政無所属の会 中村 美津緒
なかつむら みたつお

Q 骨髄や末梢血幹細胞の提供希望者の増加及び骨髄等の移植推進を図るために、骨髄移植ドナーへの支援を行うべきと考えますが、市の見解をお示しください。

保健医療

A 市では、不妊に悩む方の経済的負担の軽減を図るため治療費の助成を行っているほか、この助成申請窓口では、保健師が妊娠への不安や焦りといった相談者の思いを受けとめ、希望を持って前に進むことができるよう支援しています。今後ともこの助成制度の活用を初め、不妊治療に関する適切な情報を提供するとともに、相談者に寄り添った支援に努めてまいります。



不妊治療への
支援について
自民清風会 木戸 喜美男
きど きみお

Q 不妊治療には期間と多額の治療費が必要と聞きますが、市が行っている不妊治療への支援についてお知らせください。

病院

A 浪岡病院では接遇向上の取り組みとして、これまで院内での接遇研修を実施してきているほか、市民病院で行っている外部コンサルタントを招聘した接遇研修に平成30年1月から浪岡病院でも参加しており、引き続き接遇向上に取り組んでまいります。



浪岡病院の接遇向上に向けた取り組みについて
日本共産党 天内 慎也
あまみや しんや

Q 浪岡病院が建てかえに向かうことに対し、地域住民からは喜びの声が寄せられています。患者さんを呼び戻し、経営改善を図る上では、患者さんへの優しく配慮のある接遇の徹底が必要と考えますが、市の考えをお示しください。

アウガ問題調査特別委員会が終了しました

本委員会は、平成29年7月11日に設置して以来、平成30年3月8日までに27回開催し、その間、8名の証人喚問、1名の参考人招致、3回の執行機関に対する質疑のほか、関係人への記録等の提出請求等により調査を行ってきましたが、同日をもってその審査を終了しました。

本委員会の調査では、青森駅前再開発ビル株式会社が行った工事等で適正な見積競争が行われなかったこと及び国等の補助事業で事前着工があったことについて、その可能性が極めて高いと判断せざるを得ないとの結果となったほか、当時の書類からは、同社の経営状況が予想以上に悪化していたことも明らかになり、かつ、そのことが議会側へも提供されなかったことから、執行機関に対し、本事案を教訓に、第三セクターの適正な運営の指導に努めていただきたいとの所見となりました。



本委員会での証人喚問の様子

市議会では、今後も引き続き、市民の利益と市政の発展を第一に、執行機関との緊張感を持った関係を保ちながら、今後とも議決機関としての役割をしっかりと果たしてまいります。

議員とカダる会を開催します

日時：平成30年5月17日（木）

18:30～20:30

※ 平日、夜間の開催となります。

場所：①アウガ 5階研修室

②中央市民センター 3階大会議室

※ 2会場で同時開催しますので、当日、御都合のよい会場へ直接お越しください。なお、アウガ会場は駐車料金が全額免除されませんので、可能な限り公共交通機関等を御利用ください。

内容：①議会報告会

テーマ：短命市返上に向けた取り組みについて ほか

②意見交換会 テーマ：雪について

③自由意見交換

お問い合わせ：議会事務局議事調査課
電話 017-734-5743



青森県立保健大会場の様子

平成30年第2回定例会のお知らせ

平成30年第1回定例会には67人の傍聴者にお越しいただきました。次回の市議会定例会は次の期日で開催予定ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

- ・ 6月6日 開会
- ・ 6月12日～15日 一般質問
- ・ 6月19日 総括質疑
- ・ 6月29日 閉会

※ 会期については、変更の可能性がありますので御了承ください。

※ 本会議はいずれも午前10時からです。



昇降機を設置しました

ネット中継の御案内

本会議に来られない方は、市議会ホームページ内からインターネット中継（生中継または録画配信）をごらんください。

議会中継は、右のQRコードからアクセスできます。



編集後記

委員 竹山 美虎

あおもり市議会だより「ぎかいの森」はよろこんでもらえていでしょうか。リニューアルして1年が過ぎ、今回で5号目となりました。毎号、創意工夫を凝らしてお届けしているつもりですが、今後わかりやすく、親しみ深い内容の「ぎかいの森」にしていきたいと思います。市民の皆様の貴重な御意見・御感想をお待ちしています。